

法蔵館書店ニュース 7月

目次

話題の本 P1
法蔵館新刊案内 P2
法蔵館重版案内 P2
法蔵館刊行予定案内 P3~4
法蔵館書店新着案内 P4~11

特集1:日本仏教と戦争 P12~13
特集2:『往生要集』 P14
お知らせ P15
法蔵館書店ベスト10
メール配信サービスご案内 P16

★お知らせ★ 7、8月の書店休業日

7月のお休み：3日・10日・17日・24日・31日

8月のお休み：7日・14日～16日（お盆休み）・21日・28日

話題の本

●臨済宗青年宗の会

『不二』116号 (2022/6/20)

『悲劇の宗政家 前田誠節』

一臨済宗妙心寺派の近代史』

藤田和敏著・四六判・202頁・1,980円 (7749)

●中日、東京新聞 (2022/6/14)

●中外日報 (2022/6/3)

●文化時報 (2022/05/24)

『親鸞 左訓・字訓・語訓辞典』

田代俊孝編・四六判・218頁・3,300円 (7027)

●本願寺新報 (2022/6/10)

●中外日報 (2022/6/3)

『親鸞とマルクス主義』

一闘争・イデオロギー・普遍性』

近藤俊太郎著・A5判・544頁・8,250円 (5565)

●朝日新聞[鹿児島県版] (2022/6/7)

『明治維新と神代三陵』

一廃仏毀釈・薩摩藩・国家神道』

窪 壮一郎著・四六判・239頁・1,870円 (5567)

●[2022年度版]

東方書店おすすめ (2022/6/2)

中国を学ぶための入門書・ガイドブック

『仏教史研究ハンドブック』

佛教史学会編・A5判・414頁・3,080円 (6005)

●中外日報 (2022/5/27)

『近現代日本とエホバの証人』

一その歴史的展開』

山口瑞穂著・四六判・332頁・3,300円 (5724)

●毎日新聞[東京版] (2022/5/20)

『女人禁制の人類学』

一相撲・穢れ・ジェンダー』

鈴木正崇著・四六判・372頁・2,750円 (5650)

●仏教タイムス (2022/5/19)

『世界文学としての方丈記』

プラダン・ゴウランガ・チャラン著

四六判・360頁・3,850円 (7756)



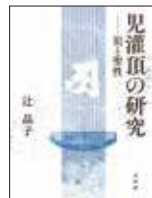
祝
受賞!

■説話文学会賞 受賞

辻 晶子先生

『児灌頂の研究——犯と聖性』

A5判・362頁・9,350円・ISBN:978-4-8318-7733-8



法蔵館文庫

◆ラジオの戦争責任

【メディア史／近代】

坂本慎一著・文庫判・272頁・990円・ISBN:978-4-8318-2636-7

戦前最強の「扇動者」、ラジオ。その歴史を五人の人物伝によって紐解き、国民が戦争を支持するに至った「日本特有の事情」を炙り出す。

■目次

- | | | |
|-----|------------------|----|
| 序章 | 最強のマスメディア・日本のラジオ | |
| 第一章 | 「超絶」の演説家 高嶋米峰 | |
| 第二章 | 時代の寵児 友松圓諦 | |
| 第三章 | 熱意の商人 松下幸之助 | |
| 第四章 | 希代のラジオ扇動家 松岡洋右 | ほか |



◆明治維新と宗教

【日本史／近代】

羽賀祥二著・文庫判・672頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-2637-4

日本近代の「神道」、その特質とは？ 近代仏教までを含んだ広い視野から考察し、「国家神道」に止まらない近代「神道」の姿を描く。

■目次

- | | |
|-----|-------------|
| I | 明治神祇官制と国家祭祀 |
| II | 日本近代の政治と宗教 |
| III | 国民教化の思想と方法 |
| IV | 近代天皇と「神道」 |

ほか



◆真宗聖典

43刷

【仏教／真宗】

柏原祐義編・A6判・995頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-9001-6

大谷派経典。浄土三部経、教行信証をはじめとする浄土真宗のすべての聖教を収録。三帖和讃には節譜を付す。

■目次

- | | | | | |
|------------|--|-------|-------|----|
| 歸敬 | | 五 讃佛偈 | 大無量寿経 | |
| 一 伽陀 龍樹菩薩寺 | | 六 三誓偈 | 同 | |
| 二 大無量寿経 | | 七 願生偈 | 天親菩薩 | |
| 三 観無量寿経 | | 八 勸衆偈 | 善導大師 | |
| 四 阿弥陀経 | | 九 文類偈 | 親鸞聖人 | ほか |



〈2022年8月 刊行予定〉

◆釈雲照と戒律の近代 日本仏教史研究叢書

亀山光明著・四六判・320頁・3,850円・ISBN: 978-4-8318-6045-3

【日本史／仏教史】

明治期に戒律復興運動を展開した真言宗僧・釈雲照。彼は本当に「近代との対決を拒否した僧」なのか。雲照の思想と事績を再検証し、近代仏教史上における意義を問い直す。

◆OD版 講解 教行信証 全5巻

星野元豊著・A5判・[分売可]

【仏教／真宗】

宗教学者として高名な著者は、真宗の思想的・哲学的解明に力を尽くし、すでに多くの労作を著している。その中で本書は、著者の『教行信証』研究の集大成である。

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| ① 教の巻・行の巻 | 466頁・8,800円・ISBN: 978-4-8318-6585-4 |
| ② 信の巻 | 656頁・11,000円・ISBN: 978-4-8318-6586-1 |
| ③ 証・真仏土の巻 | 574頁・11,000円・ISBN: 978-4-8318-6587-8 |
| ④ 化身土の巻・総索引 | 642頁・11,000円・ISBN: 978-4-8318-6588-5 |
| ⑤ 補遺篇 | 184頁・4,400円・ISBN: 978-4-8318-6589-2 |

◆POD版 仲野良俊著作集

仲野良俊著・A5判・各8,250円[分売可]

【仏教】

親鸞浄土教の現代的意義を、大乘仏教の根本思想から明確に解き明かした仲野教学待望の集大成。

第1巻 唯識思想入門Ⅰ 240頁・ISBN: 978-4-8318-9318-5

第2巻 唯識思想入門Ⅱ 300頁・ISBN: 978-4-8318-9319-2

POD版は下記インターネット書店でのみ購入できます。

Amazon・三省堂書店オンデマンド・楽天

◆新装版 哲学は何のためにあるのか

滝沢克己著・四六判・224頁・1,980円・ISBN: 978-4-8318-6583-0

【仏教】

思想界から現代を問い続ける著者が、現代人の平穏な日常意識を絶えず突き破ろうと立現れる不安の根源を、日常の事象を見据えながら、強靱な思考の持続によって解明する。

◆親鸞浄土仏教思想論 上・下

—— 大乘菩薩道の創造的統合と宗教経験論的分析

武田龍精著・A5判・予1,388頁・19,800円[分売不可]・ISBN: 978-4-8318-4151-3 【仏教／真宗】

十地経と十住毘婆沙論に説かれる如来十義と菩薩道十地を分析的方法論のカテゴリーとして施設し、親鸞聖人によって開顕された誓願一仏乗を聞思せんとした創造的考書。

◆宗教の行方——現代のための宗教十二講

八木誠一著・四六判・予380頁・3,520円・ISBN:978-4-8318-1061-8

【宗教哲学】

経済中心と情報化により人間性を軽視する現代社会に、いまこそ宗教は伝統の拘束から脱却し、現代人に通じる言葉で宗教の真実を語るべき時である。宗教回復の道を示す講義録。

シリーズ宗教と差別(全4巻) 監修＝磯前順一・吉村智博・浅居明彦

◆第2巻 差別と宗教の日本史——〈救済〉の可能性を問う

佐々田悠、船田淳一、関口 寛、小田龍哉編・A5判・予350頁・予価3,080円

ISBN:978-4-8318-5722-4

【宗教／社会】

「聖なるもの」の失墜が差別を生んだのか？ 前近代・近代をつらぬく宗教と差別の構造を徹底して問い直し、「救済」の不可能性の先に、可能性の余白を読みとろうとする新たな試み。

シリーズ宗教と差別(全4巻) 監修＝磯前順一・吉村智博・浅居明彦

◆第3巻 差別の地域史——渡辺村からみた日本社会

小倉慈司、西宮秀紀、吉田一彦編・A5判・予300頁・予価3,080円

ISBN:978-4-8318-5723-1

【宗教／社会】

江戸時代から皮革業の中心地として栄えていた大阪の被差別部落・渡辺村とは——。坐摩神社や真宗寺院との関係、東アジア圏での活発な交易など、その謎に満ちた歴史に迫る。

法蔵館書店新着案内

◆親鸞聖人と報恩講

名古屋御坊編集部編・A5判・70頁・800円〈真宗大谷派名古屋別院〉

『名古屋御坊』新聞掲載記事を再編集したものです。

「親鸞聖人」と「報恩講」について、わかりやすくまとめられた一冊です。フルカラー、イラスト掲載で読みやすく、初めての方にもおすすめです。



◆信道 2020年度 ——現在、課題となっていること

真宗大谷派名古屋別院編・A5判・87頁・1,000円
〈真宗大谷派名古屋別院〉

■目次

生死出づべき道

人間の本質

一人一世界への覚醒

本願の呼びかけに開かれる歩み

内藤知康

海 法龍

武田定光

藤元雅文



◆CDで学ぶ浄土真宗② 往生浄土

寺川俊昭口述・CD(総収録時間 72:56)・500円(真宗大谷派名古屋別院)

「CDで学ぶ浄土真宗」シリーズ第2弾。

親鸞聖人のおっしゃる「浄土」とは何か、寺川先生がわかりやすく解説されています。

■収録内容

- 1 釈尊の教える死／2 無碍の一道を生きる



◆CD 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 音楽法要

新実徳英作曲・CD2枚組(収録時間 各54分)・2,200円(東本願寺出版)

「僧侶・門徒が共に勤めできる法要を」との願いのもと、2011年の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を機縁に新実徳英氏(作曲家)の作曲により制作された音楽法要曲のCD。歌ありと電子オルガンのみの2枚組。

2023年厳修の慶讃法要でも勤まる音楽法要曲をこのCDで練習してみませんか?

■収録内容

- | | | |
|--------|--------|----------------|
| 1 出仕曲 | 4 三帰依 | 7 和訳正信偈 |
| 2 着座曲 | 5 散華曲 | 8 念仏・和讃(初重) |
| 3 登高座曲 | 6 下高座曲 | 9 念仏・和讃(二重) ほか |



◆季刊せいてん No.139

——2022夏の号

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・66頁・700円(本願寺出版社)

■内容

- 特集 「真宗を学ぶ姿勢——内藤知康和上をしのぶ」
- はじめの一步 1 江戸時代の庶民的な仏教書とお説教(終) 和田恭幸
- はじめの一步 2 幸せってなんだろう
——悪人正機の倫理学 22 藤丸智雄
- 聖典セミナー 『恵信尼消息』4 山本攝観 ほか



◆生命操作と仏教

——選択される生命と生き方の選択

早島 理著・B6判・287頁・1,760円(本願寺出版社)

出生前検査や延命治療など、医療現場から生まれた生命倫理に対して、従来の倫理や宗教はどのように応えていくのか。生命倫理を仏教の視点から捉え、医療と宗教の協働を説き、「いのち」の在り方を考える。



サンガ伝道叢書12

◆地獄と浄土、 どちらへ行きたいですか？

——私が私から解放される世界

瓜生 崇著・A5判・55頁・550円〈サンガ伝道叢書〉

ネコ住職として知られる瓜生崇師（滋賀県東近江市玄照寺住職）の法話録『地獄と浄土、どちらに行きたいですか？ — 私が私から解放される世界 —』刊行！ 2020年7月西佛山常福寺こんごう会での法話2席を加筆修正の上収録。



新典社研究叢書351

◆室町期浄土僧 聖聡の談義と説話

上野麻美著・A5判・285頁・9,240円〈新典社〉

芝増上寺の開祖・聖聡が遺した仏典注釈書には説話が多用されている。その出典と利用方法の分析・検討から一般民衆に寄り添う談義僧としての側面に光を当て、中世浄土談議所を巡る状況を考察する。



◆中世東国日蓮宗寺院史論

——妙本寺門流の展開

佐藤博信著・A5判・490頁・15,400円〈塙書房〉

主に南北朝期から近世初期の安房・上総・日向を対象にして、日蓮宗寺院安房妙本寺の歴代住職の事績と課題、妙本寺住職＝上人権の実態、妙本寺と日向諸寺との関連を考察する。



人物叢書(新装版)312

◆道慈

曾根正人著・四六判・185頁・2,090円〈吉川弘文館〉

奈良時代前期の南都学問僧、道慈。入唐して多様な新仏教をもたらし、制度・技術・文化・思想の諸方面で日本仏教構築を主導。晩年は半隠棲の修行生活を送り、仏教批判も行った。事蹟、信仰に光を当て、その生涯を描く。



◆空海の究極へ

——『秘密曼荼羅十住心論』を読む

竹村牧男著・四六判・438頁・3,960円〈青土社〉

いまなお文化や思想に大きな影響をおよぼしつづけている空海。そのあまりにも広遠なる思想の究極とは何なのか。空海の主著をひもとき、その「秘密莊嚴住心」という最深の思想に迫るとともに、そこから私たちのあるべき姿をも洞察する。仏教思想研究の第一人者が満を持して著した、空海論の決定版。



◆空海『三教指帰』

——桓武天皇への必死の諫言

藤井 淳著・四六判・211頁・2,640円〈慶應義塾大学出版会〉

若き空海が、命を賭して伝えようとしたのは何か？ これまで出家宣言の書と理解されてきた「三教指帰」。時代背景や神話・伝承、「日本書紀」などの歴史書と照らし合わせ、執筆の隠された意図に迫る。



◆最澄を生きる

ひろさちや著・四六判・205頁・1,650円〈佼成出版社〉

伝教大師最澄(767一説に766-822)の生涯と思想を紹介しながら、その生き方や考え方が現代に生きる私たちにどのような示唆を与えてくれるのかを解明する。

「いかにして仏教を人生に活かすか」を長年探究してきた著者の思索の集大成。



◆談義所から檀林寺へ

——関東天台宗教団の推移

内山純子著・四六判・392頁・4,730円〈青史出版〉

歴史史料だけでなく仏典や天台学僧の著述の調査・研究を通して、談義所が檀林へと移っていく過程を探り、関東天台宗教団の地方への展開の実態を明らかにする。永年の緻密な調査に基づく待望の労作。



インド学仏教学叢書26

◆『ニヤーヤビンドウ』における 認識論・論理学の体系

——仏教用語の現代基準訳語集および定義的用例集

三代 舞、藤本庸裕、児玉瑛子、道元大成、須藤龍真、野武美弥子、
岩田 孝編著・B5判・414頁・10,450円〈山喜房佛書林〉

『ニヤーヤビンドウ』におけるダルマキールティの認識論・論理学の体系が把握できるよう、その主要な術語や概念を平易な日本語に訳した術語集として編纂されている。



インド学仏教学叢書27

◆スティラマティ『五蘊論釈』における 五位百法対応語

——仏教用語の現代基準訳語集および定義的用例集

斎藤 明代表編著・B5判・351頁・9,350円〈山喜房佛書林〉

瑜伽行派の「五位百法」に対応する心身の諸要素(法)についての定義的、あるいは主要な意味づけと用例を和訳とともに提示し、それをもとに基準訳語例を日本語と英語とで示した。



◆仏教論理学派による普遍実在説批判

——『タットヴァサングラハ』普遍章研究

野武美弥子著・B5判・269頁・8,250円〈山喜房佛書林〉

本研究では、同章の思想的背景や議論の分析を序論に収録、後半に、『タットヴァサングラハ』及び、シャーンタラクシタの直弟子カマラシーラ(Kamalasila)によるその注釈(『タットヴァサングラハパンジカー』Tattvasamgrahapañjikā)の和訳研究、また、各二本の写本とチベット語訳に基づいた校訂テキストを収めた。



龍谷大学仏教文化研究叢書42

◆日本と東南アジアの仏教交流

——その史実と展望

林 行夫編著・A5判・244頁・6,160円〈三人社〉

従来蓄積が乏しかった南伝仏教と日本との交流をめぐる研究を補うとともに、さらなる資料の発掘をすすめる、日本の宗派仏教には遠い存在であった南伝仏教からみた今後の仏教の国家間、地域間比較交流史の展望を描く。



◆仏教者 柳宗悦——浄土信仰と美

岡本勝人著・四六判・325頁・3,080円〈佼成出版社〉

独特の民藝運動とともに浄土信仰への思いが深く、木喰仏に光を当て、妙好人に注目した柳宗悦。本書は、その幅広い学究的足跡と人脈、浄土信仰(仏教研究)に言及しながら日本思想に影響を残した柳の姿を浮き彫りにする労作。民藝運動家としての柳宗悦を取り上げた研究書はこれまでも刊行されているが、民藝美学の基盤を浄土思想に求めた姿を中心に展開する。



講談社学術文庫2717

◆儒教・仏教・道教——東アジアの思想空間

菊地章太著・文庫判・205頁・968円〈講談社〉

なぜ異なる3つの宗教がアジアでは共存できるのか。死生観、自然認識、民間信仰などの視点から、衝突・妥協・調和を繰り返すダイナミズムをとらえる意欲作。矛盾しながら共存する東アジア的宗教の本質を、シンクレティズム=習合というキー概念から鋭く分析し、軽妙な筆致でやさしく語る。



◆ブッダに学ぶ 聖者の世界

アルボムッレ・スマナサーラ著・四六判・250頁・2,420円
〈アルタープレス合同会社〉

悟った人のみが到達するという「聖(アリヤ)」の境地とは？
本書は、現象への執着によって成り立つ世俗の価値では表現不可能な聖者の心のありかたを、多くの身近なたとえ話、そして原始仏典「スッタニパータ」の平易な解説などによって解き明かす。初期仏教の伝道者、アルボムッレ・スマナサーラ長老が、「すべての矛盾、束縛から解放された世界」に読者を案内する画期的な仏教入門書。



◆瞑想と意識の探求

——一人ひとりの日本的マインドフルネスに向けて

熊野宏昭著・四六判・443頁・3,960円〈サンガ新社〉

日本のマインドフルネスとは何か。激動の時代、どちらの方向にすすんでいけばよいか。ひとりの実践家がこれまで生きてくる中で出会った様々な疑問について、6人の求道者と語り合う。

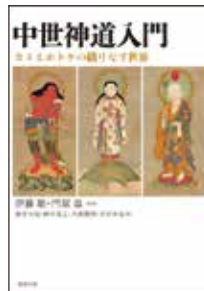


◆中世神道入門

——カミとホトケの織りなす世界

伊藤 聡、門屋 温監修・新井大祐、鈴木英之、大東敬明、平沢卓也編
A5判・378頁・4,180円〈勉誠出版〉

時代とともにめまぐるしい変化を遂げてきた神道。近年、急速に研究の進展する「中世神道」を、「基本的な概念」「神話モチーフ」「神道をめぐる人々」といったテーマごとに立項し、多数の図版を用いてわかりやすく解説する。



岩波新書 新赤版1929

◆西田幾多郎の哲学 ——物の真実に行く道

小坂国継著・新書判・202頁・924円〈岩波書店〉

難解とされる西田幾多郎の思想の本質は、「自覚」の哲学である。この見地から、初期から晩期までの独自の様々な鍵概念「純粹経験」「自覚」「絶対無の場所」「絶対矛盾的自己同一」に沿って、「悪戦苦闘のドキュメント」と評された西田の思索の内的運動と展開の軌跡を明確に解説する。



◆現代社会を宗教文化で読み解く

——比較と歴史からの接近

櫻井義秀、平藤喜久子編著・A5判・275頁・3,300円〈ミネルヴァ書房〉

現代に生じているさまざまなできごとは宗教文化とかかわっている。ありがたいと思えば拝み、よいと思えば取り入れる日本では、無信仰と称するにしても、多くの人は無宗教とはいえない。本書は、社会における具体的な素材を読み解くことで宗教文化のもつ課題から豊かさまでを示す。



◆マンガde仏教111キーワード

——だれでも自由に使える

佐々木正祥絵、文・四六変判・251頁・1,760円〈興山舎〉

日常語になった仏教語から最新の流行語まで、1コマ漫画と至言で伝える宗派問わず全寺院対応のマンガ説法。『月刊住職』別冊に好評連載中の「今どきマンガ説法」に未発表作品を加えて111のキーワードを収録。著者は、保護司、社会福祉法人理事長、そして寺院住職として長く多くの経験と活動から得た「ウィット」と「和顔」こそが布教の第一歩との思いから著した渾身の傑作集。



◆鎌倉時代の和歌に託した心・続

——建礼門院・源頼朝・九条兼実・鴨長明・後鳥羽院
宮内卿・宇都宮頼綱・北条泰時・西園寺公経

今井雅晴著・B6判・150頁・1,980円〈自照社〉

残された和歌から歴史上の人物の思いを読み解くシリーズの続篇。幼くして壇ノ浦に沈んだ安徳天皇の母・建礼門院や、『方丈記』の著者・鴨長明、法然門下の武将・宇都宮頼綱らの心、の深層に迫る。



隔週刊古寺行こう

◆金閣寺 銀閣寺 6

◆蓮花王院 三十三間堂 7

各A4変判・42頁・770円〈小学館〉

金閣寺 銀閣寺 6……茶の湯、能楽、水墨画、床の間、四畳半。現代に生きる日本の美意識の多くは、室町時代に始まります。金閣・銀閣にその源流を探ります。

蓮花王院 三十三間堂 7……南北120メートルのお堂に安置される仏像は、本尊・千手観音坐像、二十八部衆、千体千手観音などすべてが国宝。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 7月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 間宮祥太郎さん（俳優）

◎特別企画 親鸞を語ること

◎特別インタビュー 五木寛之さん

●新連載

野菜が主役のみんなのおやつ ほか

◆大乘 7月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・ご機言!お寺の掲示板……江田智昭

・釈徹宗の随縁探訪……ゲスト：河野 真さん

・マンガ お釈迦さま物語「初転法輪」

……岡橋徹栄×ノ瀬かおる ほか

特集1

日本仏教と戦争

来月の終戦記念日を前に、新刊『ラジオの戦争責任』が発売されました。
これに関連して、戦時中の日本仏教界の戦争協力体制や、アジア各国における
布教活動に関するものを中心に、仏教と戦争にちなんだ書籍を集めました。

最新刊

法蔵館文庫

◆ラジオの戦争責任

坂本慎一著・文庫判・272頁・990円(2636)〈法蔵館〉

戦前最強の「扇動者」、ラジオ。その歴史を五人の人物伝
によって紐解き、国民が戦争を支持するに至った「日本特
有の事情」を炙り出す。



◆A級戦犯者の遺言

—— 教誨師・花山信勝が聞いたお念仏

青木 馨編・四六判・136頁・2,200円(5713)〈法蔵館〉

東条英機ほかA級戦犯の最期に立ち会った唯一の日本人、花山信勝。その講演録をもとに、死を受け入れ、念仏者としてこの世を去った戦犯者達の姿に迫る。講演録音CD付。

◆近代の仏教思想と日本主義 2刷

石井公成監修、近藤俊太郎・名和達宣編
A5判・572頁・7,150円(5560)〈法蔵館〉

仏教者や知識人たちは、「日本主義」へ傾倒していく時代といかに向
き合い、いかに仏教を再編したのか。その思想的格闘の軌跡を追う。



◆戦時下の日本仏教と南方地域

大澤広嗣著・A5判・398頁・5,280円(5542)〈法蔵館〉

戦時下における日本の南方進攻を主題に、戦争を進めた政府と仏
教界の協働関係の実態を当時の資料から解明した意欲的論集!

【龍谷叢書31】

◆植民地朝鮮と日本仏教

中西直樹著・A5判・308頁・5,280円〈三人社〉

【龍谷叢書38】

◆植民地台湾と日本仏教

中西直樹著・A5判・358頁・5,280円〈三人社〉

明治期から終戦にかけて行われた、日本仏教各派による朝鮮・台湾布教の全体像の解明を試みる。



【新潮選書】

◆親鸞と日本主義

中島岳志著・四六判・297頁・1,540円〈新潮社〉

大正から昭和初期にかけて起きた親鸞ブーム。その絶対他力や自然法爾の思想は、やがて“国体”を正当化する論理として、右翼や国粹主義者の拠り所となる。「親鸞思想と国体」という近代日本の盲点を衝き、信仰と愛国の危険な関係に迫る。



【近代日本宗教史4】

◆戦争の時代——昭和初期～敗戦

島蘭 進、末木文美士、大谷栄一、西村 明編
A5判・265頁・3,630円〈春秋社〉

経済的行き詰まり打開のため、泥沼の戦争へと突き進む帝国主義の日本。現在では考えられない版図を誇った日本の植民地での宗教政策とはどのようなものだったのだろうか。また、宗教団体による総力戦体制の下での戦争への協力と抵抗、そしてその反省とは。



◆戦時教学と真宗 一～三

福嶋寛隆監修、「戦時教学」研究会編・A5判〈永田文昌堂〉
一：564頁・8,580円 二：570頁・12,815円 三：624頁・12,815円

15年戦争の勃発以後、本願寺派教団が「真俗二諦」を基礎とした「戦時教学」を形成していった過程を跡付ける、充実の資料集。



特集2

『往生要集』

日本人の「地獄」観に大きな影響を与えた源信和尚の『往生要集』。

弊社新刊『建保版『往生要集』翻刻と訳註』発売にちなんで、関連書籍を集めました。

最新刊

◆建保版『往生要集』翻刻と訳註

天台真盛宗宗学研究所編、寺井良宣編集代表・A5判・582頁(7383)
9,900円(法蔵館)

『往生要集』最古の刊本「建保版」の不足部分を、宗祖真盛所持の写本で補い、本文全体を再現。更に真盛の読みを活かした延書を収録。



◆新訳 往生要集 上・下——付詳註・索引

源信著、梯 信暁訳・A5判・上286頁(6064)、下319頁(6065)
各3,520円(法蔵館)

日本浄土思想に多大な影響を与えた、源信著『往生要集』三巻の全てを、新たに現代語訳。詳細な語註と経典・人名の索引を付す。

上下巻とも **2刷**



筑摩選書204

◆『往生要集』入門——人間の悲慘と絶望を超える道

阿満利麿著・四六判・286頁・1,760円(筑摩書房)

地獄と極楽——源信は、不条理に満ちた人生をみがきながら生きている私たちを包摂する世界観を提示した。法然と親鸞が揺るぎなきものとした浄土仏教の源流とは。

◆往生要集を読む

中村 元著・文庫判・288頁・1,221円(講談社)

日本人の地獄観・極楽観はどのように生まれたか。インド仏教の原典と源信の思想とを徹底的に比較検証、彼が基礎づけた日本浄土教の根源と特質を碩学が探究する。

◆往生要集講讃

武田宏道著・A5判・684頁・9,900円(永田文昌堂)

本書は十章からなり、第一章「厭離穢土門」は全文を、第二章以降は重要な所説を書き下し、それに目次を付して、各々内容を解説する。

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店 協賛

テーマ：「生死の苦海を渡る——生誕850年記念 親鸞聖人に聞く」

第2回 リモート可 9月24日(土)「あなたがあなたのままで輝く
——「苦海を渡る」すくいとは」

〈龍谷大学響都ホール校友会館(JR京都駅八条口、徒歩5分)・定員:150〉

真宗佛光寺派大行寺住職 英月氏

第3回 リモート可 10月8日(土)「時代を生きた親鸞」

〈京都テルサ(京都市営地下鉄烏丸線九条駅4番出口、西へ徒歩5分)・定員:168〉

大阪大学・京都先端科学大学名誉教授 平 雅行氏

第4回 リモート可 11月26日(土)「比較思想から見た親鸞聖人」

〈京都テルサ(京都市営地下鉄烏丸線九条駅4番出口、西へ徒歩5分)・定員:168〉

相愛大学学長 釈 徹宗氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722

Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

祝・祇園祭山鉾巡行復活!

2年間縮小を余儀なくされていた祇園祭もようやく元の形に戻りつつありますが、長い歴史の中では中止や延期をはじめ、さまざまなことがありました。そうした祇園祭の歴史の一端に触れることのできる2冊をご紹介します。

法蔵館文庫

◆改訂 祇園祭と戦国京都

河内将芳著・文庫判・280頁・1,100円(2624)

「権力に抵抗する民衆の祭」というイメージは実態に合うものなのか。

◆室町時代の祇園祭

河内将芳著・四六判・248頁・1,980円(6263)

京都祇園祭の歴史上、最も盛大であった室町期の祇園祭(祇園会)に注目。



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(6月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	親鸞 左訓・字訓・語訓辞典	田代俊孝	法藏館	3,300円
2	地獄と浄土、どちらへ行きたいですか?——私が私から解放される世界	瓜生 崇	サンガ伝道叢書	550円
3	親鸞に聞く 大無量寿経の意IV	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
4	阿弥陀経を読む——生きる道をたずねて	三浦真証	仏教教育出版	2,200円
5	生死出づべき道——コロナの時代、私たちはいかに生きるべきか	一楽 真	真宗大谷派 大阪教区第十二組	200円
6	解説教行信証 下巻	真宗大谷派 教学研究部	東本願寺出版	4,180円
7	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅱ	平野 修	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
8	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅰ	平野 修	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
9	アメリカで真宗を学ぶ——親鸞聖人の「三願転入」と、アメリカ人の真宗理解	羽田信生	方丈堂出版	2,420円
10	真宗と現代葬儀——「葬儀」と「死」のゆくえ	蒲池勢至	法藏館	1,430円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

- ◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。
- ◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料
- ◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

詳しくはここをクリック 

法藏館書店
友の会
 会員証



法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
 発行人: 西村明高
 E-mail: shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]
 月～土: 9:30～18:00
 祝 日: 10:30～18:00
 (休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中～!

